

T I C A D IVに向けて

平成19年3月
アフリカ第二課

1. 開催時期

2008年前半（G8日本サミットとの関係を勘案して検討）

2. 分野・考え方等

以下を踏まえて、従来のT I C A Dの成果に立脚しつつ、今後のアフリカ開発への国際社会の取組を、T I C A Dのアイデアとして、具体的な措置とともに打ち出すことを目指す。

○従来の三本柱（T I C A D III以降）

- ・「平和の定着」
- ・「成長を通じた貧困削減」
- ・「人間中心の開発」

○新味を出す工夫

- ・持続可能な開発のための環境、エネルギー等

○日本らしさ、T I C A Dらしさ

- ・「人間の安全保障」
- ・貿易・投資の促進
- ・南南協力（アジア・アフリカ協力等）
- ・人造り
- ・民主化、ガバナンス支援 等

3. 他の行事との有機的な連携

- ・G8日本サミット
- ・アフリカ関係のイベント
（T I C A D IVの機会に、「野口英世アフリカ賞」の第一回授賞式の実施が決定済み）

4. 準備プロセス

- ・アフリカ諸国の関心・意見を集約。
- ・欧米諸国、国際機関、新興ドナー国との関係・連携。
- ・市民社会・NGOとの連携。

（了）